

(様式 2-1, 2-2 はこのまま PDF 化し, 学内限定で公開します)

令和5年度三重大学国際交流事業実施報告書 (学内版)

1. 申請部局

学部・研究科名等：大学院生物資源学研究科

事業担当者の職・氏名：教授・中島千晴

内線電話番号：9638

電子メール：chiharu@bio.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称 (20 字以内, 別に副題を付けても良い)

海外協定校における短期実習の多様化

3. 事業内容の別 (該当するところにチェックを入れてください。)

教職員, 学生の海外派遣 (学会やシンポジウム等の出席は除く)

海外交流機関等からの教職員, 学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要（簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください）

海外での実習が不可能であることから、令和5年1月7日から1月11日に掛けて、教員3名と事務職員1名をマレーシアトレンガヌ大学へ派遣し、ミニ講義・留学相談会、共同研究実施サイトの訪問、共同研究打ち合わせ、次年度以降の実習の打ち合わせを実施する。

(2) 事業の背景・これまでの実績

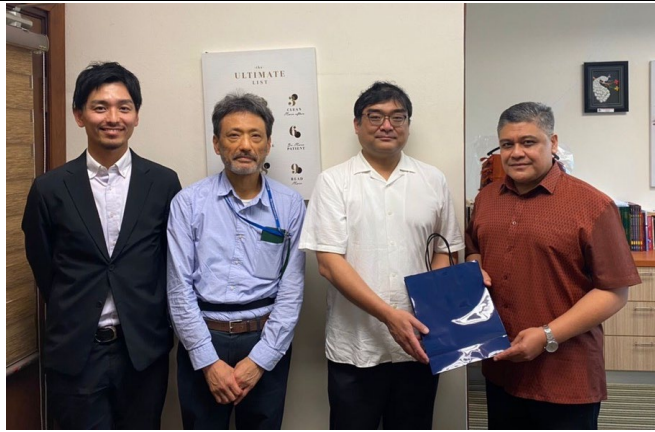
マレーシアトレンガヌ大学(UMT)はこれまでの部局間協定から、大学間協定へ近年移行した重要な交流校である。特にサマースクールでは生物資源学部の学生をこれまでに13名派遣して、生物資源学部において活用されるスクーバダイビングのライセンス、語学教室、水産学実習を実施してきた。また、教員間の共同研究も実施しており、共著論文の発表、国費外国人留学生の受け入れ等の実績がある。

(3) 事業実施結果

実施予定であったUMTでのサマースクールが中止されたが、2023年1月に教員2名、事務担当者1名を現地へ派遣し交流行事を開催した。それらは、教員による学生対象のミニ講義、留学説明会、教員対象の研究マッチングミーティング、共同研究候補地へのフィールドトリップである。ミニ講義と留学説明会には学部学生から大学院生まで試験期間中にもかかわらず45名程が出席した。講義へも積極的に参加していて質疑応答も活発に行われ、三重大学での留學生活については熱心にメモを取る学生も多かった。教員対象の研究マッチングミーティング、共同研究候補地へのフィールドトリップでは、食品・水産科学部の教員との会議が行われて、生物資源学研究科の概要説明の後、既に実施されている共同研究や、卒業生である教員から進め方などの事例が報告された。フィールドトリップには産官学からの参加者があり、今後の共同研究の進め方について生物多様性条約に基づいた材料移転契約の方法等、より具体的な議論も行われた。2月2日にはTATI大学を訪問していた伊藤学長以下三重大学代表団が合流し、三重大学とUMTの環境活動が双方の事務担当者から紹介された後、今後の教職員および学生の交流について活発な議論がUMT代表団と三重大学代表団の間で行われた。



【マレーシアトレンガヌ大学メンバーとの産官学フィールドトリップ】



[マレーシアトレンガヌ大学食品・水産科学部への表敬訪問]

(4) 事業の意義

マレーシアの地理的位置、文化、治安、教育レベルの高さ等、様々な有利な点を活かし学生、教員、職員等の様々なレベルにおける交流の発展が望める。

(5) 事業の発展性

特に優秀な学生の発掘と留学生の派遣元として、豊富な生物遺伝資源を活かした教員の共同研究先、多民族国家であることを背景とした多文化共生のスタイルを活かした大学運営を学ぶための職員の研修先、双方で力を入れている環境活動のパートナーとしての発展が望める。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

中期目標： I, 2 教育 (3), (8)

中期計画： I, 2 教育に関する目標を達成するための措置 (8)-1; X, 2. 人事に関する計画

(7) その他

なし

(様式 2-3 はウェブ公開しません)

5. 事業に係る経費執行結果

事業費		事業費の内訳	
		助成金額	自己負担額
①+② 885 (千円)		① 500 (千円)	② 386 (千円)
経費区分	金額 (千円)	積算内訳	
1) 旅費	助成分 500 学部等負担分 386	マレーシアトレンガヌ大学大学出張費 助成分 295 × 1 名 = 295 千円 102 × 2 名 = 205 千円 学部等負担分 193 × 2 名 = 386 千円	
2) 消耗品			
3) 役務			
4) 謝金			
合計	助成分 500 学部等負担分 386		

令和5年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

マレーシアトレンガヌ大学(UMT)はマレー半島東海岸に位置する海洋・水産学を中心に構成された国立大学で、重要な交流校です。英語でのスクーバダイビングのライセンス取得や水産学実習を組み込んで公表であったサマースクールが中止されましたが、2023年1月に教員2名、事務担当者1名を現地へ派遣し、教員による学生対象のミニ講義、留学説明会、教員対象の共同研究の打ち合わせ、共同研究候補地へのフィールドトリップが行われました。ミニ講義と留学説明会には学部学生から大学院生まで試験期間中にもかかわらず45名程が出席し、質疑応答も活発に行われ、三重大学での留学生活については熱心にメモを取っていました。教員対象の共同研究の打ち合わせ、共同研究候補地へのフィールドトリップが行われ、熱心な議論が予定時間を越え、帰国後にも問い合わせがあるほどでした。

令和5年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

様式 2-4-E には様式 2-4-J を英訳したものを記載してください。

実施内容によっては一般公開には適さないものがあり得ます。その場合は「一般公開しない」とのみ記載してください。

Universiti Malaysia Terengganu (UMT), located on the East coast of Malaysia, is a national university composed of faculties of marine sciences and its related. In the past, several Mie University students have been despatched for summer school to obtain a license for scuba diving and to join the practical training for fisheries. This time, we despatched faculties and office staff, and they convened the orientation meeting for studying at Mie University and gave lectures about Insect ecology and Phytopathology. Total 45 UMT students joined and discussed. As for the collaboration work among the faculties, we discussed it animatedly.